

9 地域 GK トレーニングキャンプ支援補助金制度

1. 背景・目的

1999年より開始したJFAゴールキーパーキャンプは数多くの代表選手を排出し、今やその活動はなくてはならないものになっている。ゴールキーパーキャンプの役割は、選手の強化、育成に留まらず、選手発掘、情報発信、ゴールキーパーコーチ研修と多くの側面を兼ね備えている。

現在、JFAが行うゴールキーパーキャンプが地域に好影響し、併せてゴールキーパープロジェクトや地域関係者の努力もあり、ゴールキーパーの育成に対しての取り組みが着実に広がっている。代表的なものとして地域単位でのゴールキーパーキャンプの実施が挙げられる。

今後は更にゴールキーパーの発掘、育成に力を注いでいかなければならず、先ずできることとして、現在行われている地域ゴールキーパーキャンプの開催回数を増やすことや参加選手を増やしていくことで急務であり、そのための支援は必要と考える。

2. 基本的な考え方

- 地域で実施している地域ゴールキーパーキャンプに対し開催補助金を支払う。
- 実施しない地域には支払わない。
- 補助金の使途は、グラウンド利用料、宿泊費、交通費等直接実施に関わる経費とする。
- 実施場所、期間、開催規模はナショナルトレセン GK コーチが主体となり、地域のスタッフ等と共に企画するものとし、地域の独自性を配慮する。併せてナショナルトレセン GK コーチはキャンプ実施、予算管理、実算管理に関わる。

3. 地域開催補助費

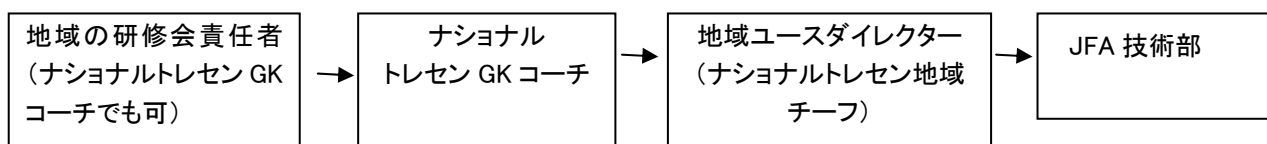
- 1 地域:30 万円
- 振込先 各地域サッカー協会
- 振込予定日 随時(振込日決定後連絡します。)

4. 申請方法

- ナショナルトレセン GK コーチより JFA 事務局に開催日時と場所を決定次第報告。
随時開催補助金を地域協会に振り込み。

5. 報告方法

- 別紙、『9 地域 GK トレーニングキャンプ 報告書』に GK 地域トレーニングキャンプの責任者が記入の上、提出。
- 提出方法は下記の通り。



6. その他

- 補助の継続について
ゴールキーパーの発掘、育成はもとより指導者のスキルアップは選手育成において非常に重要なウェイトを占める。よって継続性のある支援を検討するが、JFA 予算の変動により継続的に補助できない場合も想定し、地域単独での継続開催を想定しながら進めていくものとする。

以上